



**unitar**

United Nations Institute for Training and Research



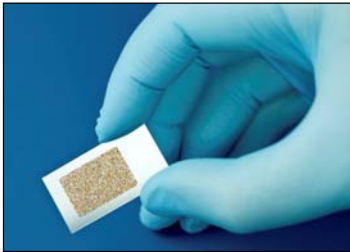
**UNITED NATIONS  
UNIVERSITY**

**UNU-IAS**

Institute of Advanced Studies

## EXECUTIVE WORKSHOP

# ナノテクノロジーと人工ナノ物質の リスクと利益性について



ナノテクノロジーは多くの国々で重要な政策課題となりつつあります。ナノテクノロジーとは個々の原子や分子を操り、新しい製品やプロセスを作り出す技術のことです。例えば、この技術を用いて超小型コンピューターやボトムアップ方式で原子をひとつひとつ組み合わせた新しい構造を作ることができます。このユニタールと国連大学高等研究所が共同で主催するエグゼクティブ・ワークショップでは国際的および国内的視点からナノテクノロジーと人工ナノ物質について議論します。

### プログラム

#### あいさつ

ゴヴィンダン・パライル 国連大学副学長、国連大学高等研究所所長  
アレクサンダー・メヒア ユニタール広島事務所所長

#### テーマについて

「ナノテクノロジーと人工ナノ物質の応用」  
クレグ・ボルチコバク ユニタール、化学物質と廃棄物管理プログラム・マネージャ  
国際機関共同化学物質管理計画（IOMC）委員長

#### リスクアセスメント

「人工ナノ物質の生産と使用による健康への潜在的リスク」  
クレグ・ボルチコバク ユニタール

「人工ナノ物質の生産と使用による環境への潜在的リスク」  
ブランドン・ターナー ユニタール、化学物質と廃棄物管理プログラム・シニア・スペシャリスト

#### 国際的協調

「人工ナノ物質のリスクと利益性に関する OECD の活動や他の国際的な取り組み」  
ブランドン・ターナー ユニタール

#### 日本の視点：三省の取り組み

田村修司 経済産業省、製造産業局化学物質管理課長補佐  
小岩真之 環境省、環境保健部環境安全課長補佐  
田中大平 厚生労働省、医薬食品局審査管理課長補佐

#### 質疑応答

日 時：2010年3月8日（月） 13:00-17:00

場 所：エリザベス・ローズ会議場 国連大学 東京都渋谷区神宮前 5-53-70

お申し込み：参加費は無料ですが、事前のご登録をお願いいたします。ご登録はオンライン（[www.unitar.org/event/tokyo](http://www.unitar.org/event/tokyo)）か  
Eメール（[hiroshima@unitar.org](mailto:hiroshima@unitar.org)）、または電話（082-511-2424）、ファックス（082-211-0511）をお願いいたします。

言 語：英語（日本語への逐次通訳）と日本語

（注）駐車場の準備がございませんので、当日は公共交通機関を使ってお越しください。